

Ivanti Unified Access Licensing

IvantiネットワークセキュリティVPNおよびNZTA製品

概要

- Neuronsクラウドプラットフォーム上で一元的に自動化されたライセンス管理
- Ivanti Connect Secure VPN、Ivanti Neurons for Secure Access and Ivanti Neurons for Zero Trust Access
- Named User License
- ISA-Vゲートウェイプラットフォームライセンス
- ISAとPSAモデルVPNゲートウェイ両方をサポート

製品概要

Ivanti Unified Access Licensing (UAL)は、Ivanti Connect Secure VPN、Ivanti Neurons for Secure Accessゲートウェイクラウド管理、およびIvanti Neurons for Zero Trust AccessのNeuronsプラットフォームに付属するNamed User Licenseモデルです。UALは、Neuronsプラットフォームで管理されるバーチャルISA VPNとNZTAゲートウェイを無制限に展開できます。UALを使用すると、すべてのユーザーとゲートウェイのライセンスがNeuronsプラットフォームによって管理されるため、管理者は各ゲートウェイにライセンスを手動でインストールしたり、展開の一部としてIvanti Connect Secureライセンスサーバーを操作したりする必要がなくなります。

Unified Access Licensing (UAL)に含まれているのは？

Ivanti Unified Access Licensing (UAL)には、Ivanti Connect Secure VPN、Ivanti Neurons for Secure Access、およびIvanti Neurons for Zero Trust Accessのサブスクリプションが含まれます。

UALでは、すべてのライセンスがNeuronsプラットフォーム内で一元化され、自動化されています。これによって管理者は、ライセンスのインストールや管理に煩わされることなく、VPNやNZTAゲートウェイを、クラウドや仮想マシンとして、オンデマンドで簡単に、迅速に展開・拡張・縮小することができます。

Ivanti Unified Access Licensing (UAL)と同時接続ユーザーライセンスとを比較した際のメリットとは？

Ivanti Unified Access Licensing (UAL)は、Named User Licenseです。つまり、各ユーザーは初回サインイン時にライセンスが割り当てられ、そのライセンスは関連するNeuronsインスタンス内で紐づけされます。ユーザーがデバイスにサインインするたび、組織のUAL Named Userリストに照らし合わせ認証されます。

Ivanti Unified Access Licensingは、従来のVPNとゼロトラストネットワークアクセスのギャップを埋めます。UALとIvanti Secure Access Clientを使用することで、組織は独自のペースでゼロトラストネットワークアクセスへの移行を可能にし、必要に応じVPNまたはNZTAゲートウェイを柔軟に導入することも出来ます。またIvanti Neurons for ZTAによりアプリケーションをセットアップすることもできます。VPNゲートウェイを一元管理し、管理オーバーヘッドを大幅に削減することで運用効率を改善し、ユーザーの行動分析とリスクスコアリングを行い、将来のセキュリティ投資を担保します。

Ivanti Unified Access Licensingにより、管理者はいつでもどこでも必要なときに、VPNゲートウェイとNZTAゲートウェイの両方を展開することができます。ゲートウェイプラットフォームライセンスは、UALに含まれているため、管理者は必要なサイズのゲートウェイを展開することができます。新しいゲートウェイの設定は、初期セットアップ時に対象のNeuronsインスタンスに接続するだけです。ライセンスは、Neurons内ですべて自動的に管理されます。そのため、管理者は、デバイスに追加のライセンスをインストールしたり設定したりする必要はありません。

NeuronsがUALユーザーとNamed Licenseを追跡する方法とは？

UALのNamed Userの管理は、Ivanti Neurons for Secure AccessとIvanti Neurons for Zero Trust Accessで別々に処理されます。どちらも、割り当てられたNamed User Licenseの独自リストを管理し、ユーザーライセンスの割り当てと解放の方法はサービスによって異なります。

Ivanti Neurons for ZTA (Ivanti Neurons for Zero Trust Access) では、ユーザーの最後のアクティビティはログインによって追跡されます。ユーザーが過去 90 日間、Ivanti Neurons for ZTA にログインしていない場合、そのユーザーのNamed Licenseは自動的に解放され、新しいユーザーに再割り当てできるようになります。ライセンスを失ったユーザーは、Ivanti Neurons for ZTA に再登録し、UAL データベースに追加する必要があります。

Ivanti Neurons for Secure Accessでは、Ivanti Neurons for Secure Access インスタンスがユーザーのアクティビティを初めて検出したとき、Ivanti Neurons for Secure Access 内のユーザーアカウントがマッピングされます。このユーザーアカウントは指定されたユーザーライセンスに関連付けられており、有効期限はありません。このマッピングは、ユーザーアカウントが Ivanti Neurons for Secure Access から削除されるまで割り当てられたままとなります。ユーザーアカウントが削除されると、Named User Licenseのマッピングも削除され、新しいユーザーのためにライセンスが直ちに解放されます。

PSA / ISAとUALの共存

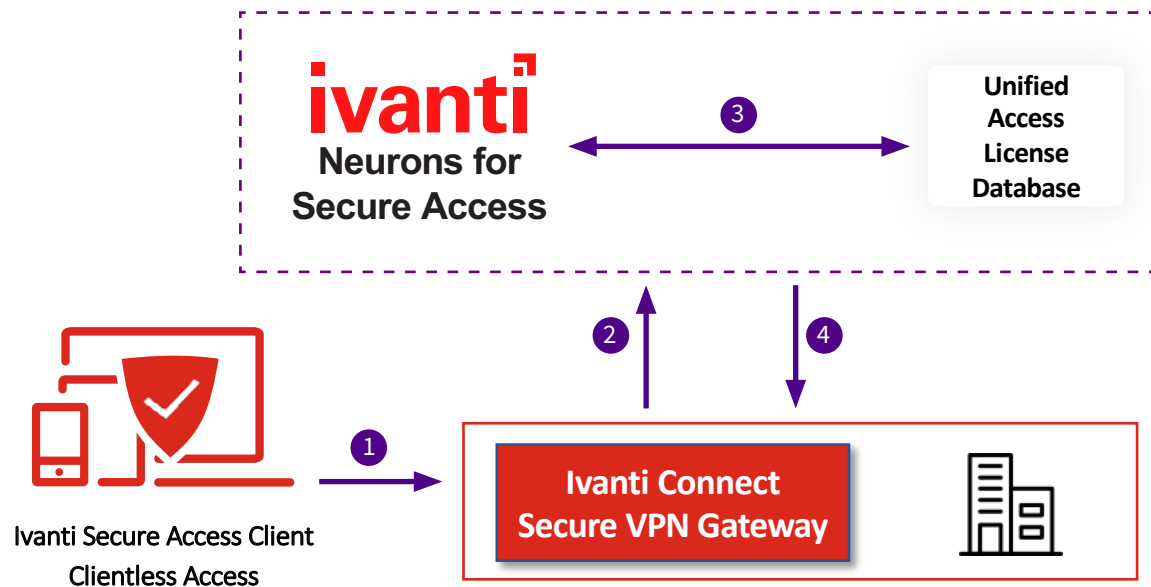
Ivanti Unified Access Licensingは、ISAおよびPSAシリーズの両方のゲートウェイで動作するため、既存の顧客は、PSAの導入をIvanti Unified Access Licensingモデルに簡単に移行することができます。PSAとISAシリーズの両方のゲートウェイは、Ivanti Neurons for Secure Accessによって一元管理することができます。つまり、既存のPSAは、ゲートウェイを交換することなく、構成の一元管理、ライセンス管理の自動化を実現します。

PSAシリーズのゲートウェイアップグレードパスは？

PSAシリーズのゲートウェイに対しIvanti Neurons for Secure Accessによるクラウド管理を有効にするには、Neuronsインスタンスからダウンロード可能なPSAコードへアップデートする必要があります。アップデートが完了すると、PSAシリーズゲートウェイはNeuronsインスタンスに接続され、Neuronsクラウドから完全に管理できるようになります。

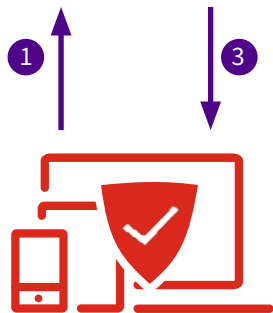
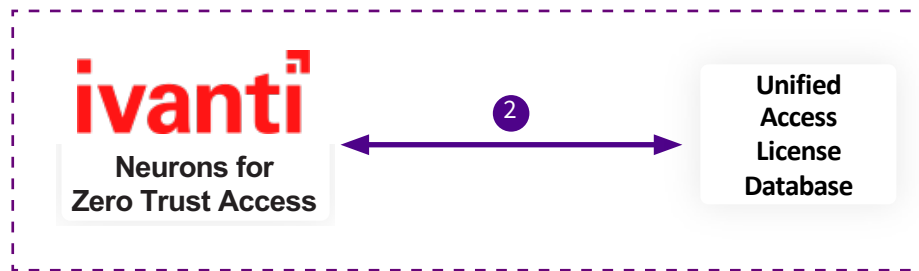


Ivanti Neurons for Secure Access Unified Access Licensingダイアグラム



- 1 ユーザーは、Ivanti Secure Access Client を介し、またはゲートウェイのユーザポータルを介し、クライアントレスで、Ivanti Neurons for Secure Accessが管理するICS ゲートウェイに接続します。
- 2 Neuronsの管理下にあるICSゲートウェイは、ローカルのライセンスキャッシュをチェックし、既存のユーザー/ライセンスのペアを探します。ライセンスペアが見つければ、ユーザーにRealm/Roleが割り当てられます。ローカルゲートウェイキャッシュにユーザーが見つからない場合、ゲートウェイはIvanti Neurons for Secure Access に対してユーザー/ライセンスを検索します。
- 3 Ivanti Neurons for Secure Accessは、UALデータベースにユーザーライセンスのペアを照会します。ユーザーライセンスペアが見つからず、ライセンスが利用可能な場合は、新しいユーザーライセンスペアが作成されます。
※利用可能なUALライセンスがなく、既存のユーザーライセンスペアも存在しない場合、ICSゲートウェイによってユーザーログインが拒否されます。
- 4 Ivanti Neurons for Secure Accessは、ユーザー/ライセンスのペアリング情報をICSゲートウェイに返し、次回以降のログインのためにユーザーライセンスのペアリングをローカルにキャッシュします。

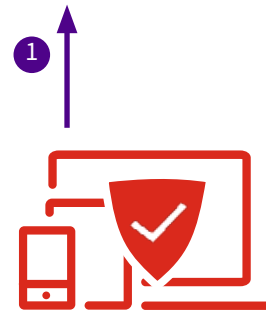
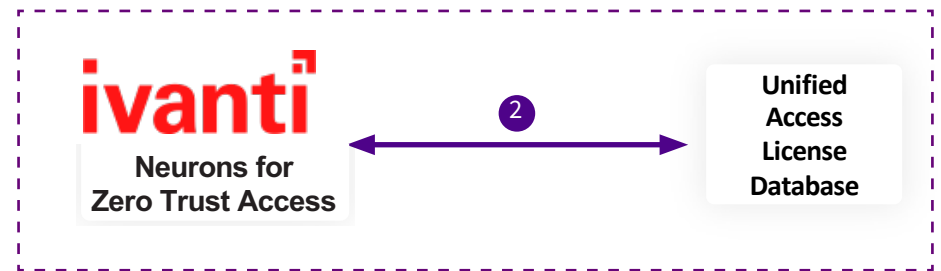
新規NZTAユーザー向けのIvanti Neurons for Zero Trust Access Unified Access Licensingのダイアグラム



Ivanti Secure Access Client

- ① 新規ユーザーは、新しいラップトップに初めてログインし、Ivanti Neurons for Zero Trust Accessに登録します。
- ② Ivanti Neurons for Zero Trust Accessは、ライセンスが利用可能な場合、新しいユーザーにライセンスを割り当てます。UALデータベースに利用可能なライセンスがない場合、ユーザー登録はブロックされ、ユーザーはIvanti Neurons for Zero Trust Accessに登録できなくなります。
- ③ Ivanti Neurons for Zero Trust Accessは、クライアントの自動設定を含め、ユーザーの登録プロセスを続行します。

既存NZTAユーザー向けのIvanti Neurons for Zero Trust Access Unified Access Licensingのダイアグラム



Ivanti Secure Access Client

- ① 既存のユーザーは、Ivanti Secure Access Client から Ivanti Neurons for Zero Trust Access にログインします。
- ② Ivanti Neurons for Zero Trust Accessは、ユーザーがUALデータベースに登録され、ライセンスが割り当てられていることを確認し、アプリの割り当てプロセスを続行します。ユーザーがUALデータベースでライセンスを割り当てられていない場合、ユーザーはログインをブロックされ、Ivanti Neurons for Zero Trust Accessに再登録する必要があります。

※Ivanti Neurons for Zero Trust Accessのユーザーライセンスのペアリングは、ユーザーからのログインが90日間ない状態が続くと失効します。

Ivanti Unified Access Licensingのメリット

メリット	概要
統合リモートアクセス、ゲートウェイ管理、NZTAライセンス	VPN、クラウドゲートウェイ管理、高度なユーザー分析を組み合わせた単一のSKUと、企業アプリケーション向けのゼロトラストネットワークアクセスにより、セキュアアクセスの導入を簡素化
NZTAのシームレスな移行を実現	統一されたIvanti Secure Access Clientにより、Ivantiエンドポイントを切り替える必要がないため、既存のICS VPNユーザーは、Ivanti Neurons for Zero Trust Accessへの移行期間中も、VPNとNZTAの両方を利用可能
新しいゲートウェイを導入する際のサイジングやライセンスに関する課題を解消	プラットフォームライセンスは、Neurons for ZTA または ICS ゲートウェイを新規導入する際に自動的に含まれるため、ゲートウェイは常に「適切なサイズ」に設定されます。Neurons 内でユーザーを一元管理できるため、ゲートウェイやライセンスサーバーへのライセンス適用は不要
VPNとNZTAの展開全体を管理するための単一のUI	Ivanti Neuronsにより、構成/ライフサイクル管理、マルチゲートウェイ/クラスタ管理、VPNゲートウェイの構成テンプレートなど、すべてのICSおよびZTAゲートウェイの管理が単一の画面から実行可能
問題が発生する前に、リスクのあるユーザーの行動を特定し制御	UEBAと高度なユーザー行動分析により、ZTAとVPNの両環境のユーザーについて、リスクのあるユーザー、デバイス、アプリケーションの異常な利用を特定
管理するIvantiアプライアンス数を低減	Unified Access Licensingは、Neuronsクラウド内のすべてのユーザーとプラットフォームのライセンスを自動化するため、組織は、その展開内においてIvantiライセンスサーバーの維持・管理が不要
シャドーITとリスクの高いユーザー・アプリケーションの特定	シャドーITを特定し、ICS VPNとNeurons for ZTAの両ユーザーのアプリケーション使用状況を追跡します。アプリケーションの検出結果に基づいてアプリケーションポリシーを作成し、危険なアプリケーションが脅威となるのを阻止
他のプロバイダーが別途ライセンスを請求するような高度な機能を搭載	Unified Access Licensingには、VPNユーザー向けのクライアントレスアクセス、SSL VPNやホストチェッカー、カスタムエンドポイントスクリプト機能を備えたIvanti Secure Access Client、ZTA向けのIvanti Neurons for Risk-Based Vulnerability Management (リスクベースの脆弱性管理)、脆弱性リスク評価 (VRR) スコアリングが含まれます。そして、ユーザーやプラットフォームのライセンスを気にすることなく、必要なときに必要な数のゲートウェイを展開できる柔軟性を有す



Ivantiについて

Ivantiは「Everywhere Workplace (場所にとらわれない働き方)」を実現します。場所にとらわれない働き方により、従業員は多種多様なデバイスでさまざまなネットワークからITアプリケーションやデータにアクセスし、高い生産性を保つことができます。Ivanti Neurons自動化プラットフォームは、業界をリードする統合エンドポイント管理、ゼロトラストセキュリティと、エンタープライズサービス管理のソリューションをつなぎ、デバイスの自己修復および自己保護、またエンドユーザーのセルフサービスを可能にする統合ITプラットフォームを提供します。Fortune 100の96社を含む40,000社以上の顧客が、クラウドからエッジまでIT資産の管理、検出、保護、サービスのためにIvantiを選択し、従業員があらゆる場所においても作業できる優れたユーザー体験を提供しています。詳細については、www.ivanti.com/jaをご参照ください。

The Ivanti logo consists of the word "ivanti" in a bold, lowercase, sans-serif font. The letter "i" is red, while the remaining letters "vanti" are black. A small registered trademark symbol (®) is located at the top right of the letter "i".A vertical bar on the left side of the contact information, with a red-to-orange gradient.

ivanti.com/ja

03-6432-4180

contact@ivanti.co.jp